

一般財団法人 FA財団

平成30年度事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

1. 論文賞表彰事業

1. 平成30年2月に行った7学会への推薦依頼に応じて、6月末日の締切までに論文賞候補17件が送られてきた。そこで、7月～8月に各審査委員に書面審査をお願いし、9月11日（火）に審査委員会を開催して授賞候補論文を選定してもらい、10月10日（水）の第16回理事会（書面審査）で授賞論文7件を最終決定した。12月14日（金）に霞山会館で開催した表彰式では、受賞者をはじめ、7学会関係者、来賓、役員・評議員・審査委員等、約70名の参加を得て、論文の著者に表彰状と副賞（1件100万円）を贈呈し、引き続いて祝賀会兼技術交流会を行った。
2. 審査委員会では、平成31年度以降の論文賞表彰事業全般についても意見交換を行い、論文賞の募集・審査・表彰のスケジュール、推薦依頼学会は今年度と同様で良いことになった。なお、外国人が外国で行った研究は審査対象から外すということを推薦依頼学会に何らかの形で周知することになった。
3. 平成31年2月に、平成31年度の論文賞候補の推薦を7学会に依頼した。

2. 運営・管理体制

1. 6月28日に平成29年度の決算に基づいて、公益目的支出計画実施報告書を内閣府に提出した。
2. 平成元年3月の本財団創立から平成26年4月の一般財団法人移行までの経緯と活動状況を纏めた冊子「FA財団25年の歩み」の内容補充を検討するとともに、「30年の歩み」を纏める準備に着手した。
3. ファナック株式会社からの資金援助については、12月5日に2,000万円の振り込みがあったので、管理費として収入の部に計上した。

事業報告の内容を補足する重要な事項が無いとため、事業報告の附属明細書は作成していない。